

枝幸町「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、世界各地で深刻な自然災害が発生し、国内においてもこれまでに経験したことのない集中豪雨や猛暑などが頻発し、各地で甚大な被害が発生しています。

これらは、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスによる地球温暖化が原因とされております。

2015年に採択されたパリ協定では、「平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が掲げられ、この目標を達成するには「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

このような国際情勢から、2020年10月、政府は、「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指す」ことを表明し、2021年5月に改正地球温暖化対策推進法が制定されました。

さらには、北海道においても、地域資源を最大限活用しながら、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」の実現を目指すこととされました。

本町においても、脱炭素社会の実現に向けて、豊かな自然環境・美しい景観を守り、まちの将来像である、「こころが結ぶ『森と海』優しさと活気あふれる北の理想郷」づくりを目指すため、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」として、主体的に取り組んでいくことをここに宣言します。

令和4年2月10日

枝幸町長 村上守継